

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		aluko		公表日		令和8年 2月 28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
					環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	5	0	集団での運動領域などでは、職員がすぐ介入できる距離と人数を意識して配置している。	基準以上の配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	つまずきや転倒を防ぐため、段差を減らし、通路や出入口は十分な幅を確保している。	療育や支援に必要な構造や配慮は都度検討しその児童本人に必要な環境を提供していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日常的に清掃・消毒を行い、床・机・玩具・ドアノブ等は定期的に衛生管理をしている	よりよい構造や運用ができるを引き続き検証し反映させていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	気持ちが高ぶった時や不安が強い時には、周囲の刺激が少ない個別スペースで落ち着いて過ごせるよう配慮している。	個別の部屋はないですが、その都度使用できる場所を設定し対応を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	支援目標や業務上の課題について、職員間で共有し、共通理解をもって取り組んでいる。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	回収した評価結果や自由記述について、職員間で共有し、課題や改善点を整理している。			
	8	職員の息見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼などでそのような時間を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第3者評価は受けていない。	今後の検討事項としていきたいと思えます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	日常の支援の中で、職員同士が助言や振り返りを行い、実践を通じた学びにつなげている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	子どもの実態や運営状況の変化に応じて、必要に応じてプログラムの見直しを行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	子どもの強みと課題、保護者の希望を整理し、支援が必要な点を明確にしている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援記録や観察をもとに、子どもの様子や変化について職員間で共有し、計画に反映している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	放課後等デイサービス計画の内容は、関係する職員が確認できるよう共有している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日常の活動や遊び、集団場面での様子を職員が観察し、行動や反応を記録している。標準化ツールの使用は限定的。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子どもの発達状況、特性、課題に応じた目標と具体的な支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	子どもの様子や支援目標を踏まえ、職員同士で意見を出し合いながら活動内容を検討している			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	子どもの興味・関心や発達段階、その日の状態に応じて活動内容を調整している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもの発達状況や行動特性を踏まえ、個別と集団のバランスを考えた支援計画を作成している。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前に職員間で打合せを行い、その日の利用児童の状況や注意点を確認している。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りの内容はサービス提供記録等に反映し、次回の支援につなげている。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援についてサービス提供記録を作成し、子どもの様子や支援の経過を客観的に記録している。これらの記録をもとに支援の効果や課題を確認し、職員間で共有しながら支援方法や計画の見直しに活かしている。			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	日々の支援記録や職員の観察、保護者からの情報をもとに、子どもの変化や課題を把握している。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	子どもの年齢や特性に応じて、どの基本活動を重視するかを調整している。			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	遊びや活動、使う教材などについて、子どもが自分で選べる場面を設定している。			
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	行動や支援の経過、得意なことや課題など、日々の支援で把握している情報をもとに意見を伝えている。				

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要時は関連機関と情報交換を行い、生活全体を見据えた支援につなげている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校から得た情報は職員間で共有し、当日の支援や対応に反映している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	5	0	必要に応じて連絡や情報交換を行い、子どもを多方面から支える体制づくりに努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	具体例がないが、子どもが安心して新しい環境に移行できるよう、必要な情報の事前共有ができる体制をとっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	得られた助言や研修内容は職員間で共有し、日々の支援に活かしている。連携機会は頻繁にないが、必要時に連携する体制がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	現在は放課後児童クラブ等や地域の子どもと活動を共にする機会を設けていない。	現時点で事業所からの働きかけはしていません。保護者様の意向を踏まえた上で検討したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	0	5	現在は自立支援協議会等への定期的な参加には至っていないが、相談支援事業所や学校、関係機関との連携を通じて、必要な情報共有や協働を行っている。今後、必要に応じて協議会等への参加も検討している。	今年度は参加できておりませんので、参加については今後検討を行ってきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳、電話等を通じて、子どものその日の様子や支援の内容を保護者に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	子どもへの関わり方や家庭での支援方法について、保護者に助言や情報提供を行っている。トレーニング然として行っていないものの、利用時に情報提供や子どもとの関わり方について伝達を行っている。	保護者のご要望も確認しながら、プログラムや研修の検討を行っていきます。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	専門用語を避け、保護者が理解しやすい言葉で説明するよう心がけている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	年齢や発達段階に応じて、子ども本人の気持ちや希望も確認している。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	放課後等デイサービス計画を保護者に示しながら、支援目標や支援内容について説明している。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時や電話、面談等を通じて、保護者が相談しやすい環境を整えている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	現在は実施していない。	現時点では行っていません。今後保護者様の意向を確認しながら検討していきます。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	対応内容を記録し、職員間で共有して再発防止につなげている。	相談や申し入れについては、マニュアルに沿って即時的に対応するようにしています。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	5	HPやSNS等を活用し、事業所の取り組みや連絡事項を発信している。	会報の発行は行っていませんが、通常の活動は記録の共有や特別な運営体制を取るときは事前に資料の配布を行い周知を行っています。
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の管理方法や取り扱いルールを定めている。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもや保護者の理解に応じて、言葉を選び、ゆっくり・簡潔に伝えるよう配慮している。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。	0	5	現在は地域住民を招いた行事の実施はしていない。	通所していることを知られたくない保護者様もおり、また、プライバシーの保護の観点からも現実的な運用方法を検討する必要があると考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルの策定だけでなく、法令に定められる訓練及び防災訓練等実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	地震や火災等を想定し、避難や安全確保の訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	5	0	状況に変化があった場合は、保護者から随時情報をもらい、対応を見直している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	食事の提供を行っていない。ただし、保護者からの情報提供により、アレルギーの有無は把握し、必要時は指示に準じて対応。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の策定及び研修計画に基づいて研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	利用開始時や必要に応じて、安全計画や非常時の対応について保護者に説明している。	家族に対して連携が図れるよう周知を行い、定期的に確認を行うことが必要がある。また、職員内での共有ができるよう体制を整える。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	記録した内容を職員間で共有し、注意喚起を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	不適切な関わりや気になる行動があれば、すぐに相談・報告できる体制を整えている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	生命や身体の安全を守るために他に方法がない場合に限り、最小限の対応を行うこととしている。	